



平成24年度 1級舗装施工管理技術者試験

〔一般試験〕解答試案

問	解答	ポイント解説	問	解答	ポイント解説
1	2	PC杭は杭基礎の一種である	31	3	(1)2次転圧はロードロー(2)フォームアスファルト等を用いる(4)プライムコートは省略
2	4	流出係数は同じである	32	4	鉄輪ローで圧入、タイヤローで結合を図る
3	3	碎石など透水性の良いものを使用する	33	3	ホップ→パフィーダ→スクリュブレッタの順
4	4	中央分離帯での使用は抑制されている	34	1	TAOの計算に用いる換算係数で算定
5	1	スクレーパについての記述である	35	2	道路縦断方向に生ずる波状の凹凸
6	2	カルシウムは酸性土壌のph調整に使用	36	3	構造設計が必要である
7	1	特記仕様書は共通仕様書に優先する	37	4	クラック抑制シートや応力緩和層を設置する
8	4	粘性土地盤の安定計算等に利用する	38	3	現場事務所等は間接仮設
9	3	50cm未満は、15~20%の割増率とする	39	1	旧Asの針入度又は圧裂係数の基準を満足する必要がある
10	2	路床厚の中央部より深い位置から採取	40	4	矢線の長さは所要時間に関係なく表示
11	2	舗装に疲労破壊によるひび割れが生じるまでに要する回数	41	1	工事の進捗を管理することである
12	1	設計期間内の平均的な交通量である	42	3	直接工事費として計上
13	4	路面の設計条件(路面の性能指標)	43	4	5%以内の勾配で擦り付ける
14	2	(1)人工砂はフィルターではない(3)切込み砂利(4)フィルターに分類される	44	2	間隔を空けずに設置する
15	3	表面処理及びシール用である	45	3	車道幅員は3メートル以上とする
16	4	石灰など(グリーンアスファルトは防水等に用いる)	46	1	基準密度の93%以上
17	2	突固め回数は50回	47	4	修正CBR(粒度、PI)等
18	1	針入度の小さいアスファルトを用いる	48	3	使用材料や施工法が適正であるか確認する。通常は施工開始以前に実施
19	3	海水は、練混ぜ水に使用できない	49	1	発注者の承諾は必要ない
20	2	碎石マッシュは水密性に富む混合物	50	2	発注者が定める
21	4	温度上昇により低下する。割増を行う	51	1	個々の測定値が合格判定値以内
22	1	(2)カンパロ試験(3)透水試験(4)軟化点試験	52	3	(1)空気量試験(2)平板載荷試験(4)透水試験
23	2	粒状生石灰は消化を待ってから再混合	53	4	全額を負担しなければならない
24	3	施工端部を垂直に切り取る	54	3	20日以内で、できる限り短い期間内
25	1	60%程度に低下する	55	1	建築限界(高さ方向)は2.5m
26	4	(1)プライムコートの説明(2)ゴム入り乳剤を用いる(3)標準量付近が大きい	56	3	何れかの警察署長に提出すれば良い
27	3	石粉は散布しない(加温や2回散布)	57	2	①事業活動、②相当範囲、③土壌の汚染、④生活環境
28	2	下層と上層の継目は重ねない	58	4	(1)0.45㎡以上(2)80kW以上(3)振動規制法上の特定建設作業
29	4	高締固め型のアスファルトフィニッシャーを用いる	59	1	一日で終了する作業は除外される
30	1	ゴムアスファルト系の接着剤を塗布(0.3~0.4l/㎡)	60	2	都道府県知事の許可は不要



技術検定研修協会

仙台市青葉区二日町13-22カルコス仙台ビル306

TEL.022(346)6251

FAX.022(266)0868